

# 着脱、こんな風にやっているよ！

<0. 1歳児>



おてていれようね。

<1. 2歳児>



くつしたはくのむずかしいな。

<2歳児>



おねえちゃんだからじぶんでぬげるよ



・0歳児は「おてて入れようね」「あんよ入れようね」と保育者に優しく声を掛けられながら着脱をすることによって、きれいなものを身に着ける心地よさを感じ、体の部位を少しずつ認識していきます。1歳児後半ぐらいから自分でやってみようという意識が出てきて、ズボンや紙おむつ・靴下など簡単なものを保育者の手助けを受けて着脱し、自分で「できた」という喜びと褒めてもらう嬉しさを感じます。2歳児後半になると、もっと器用になり、靴下・靴、Tシャツなど保育者の手助けを受けながらできる様になっていきます。3歳児になると自分で着脱し、後半になるとボタンはめなども一人で出来るようになります。4・5歳児になると、服をたたんだり、身支度のほとんどが自分でできたりするようになります。

<3歳児>



うらがえすのはちょっとむずかしいな・・・

ひとりでできたよ！！



<4歳児>



じょうずにたためるよ。

まずははんぶんにおって・・・

<5歳児>



たたむのはまかせて



じぶんでできるよ

